

江別市環境マネジメントシステム 取組結果について

(平成 16 年度～平成 17 年度)

目

次

1	環境マネジメントシステムの概要	1
	(1) 環境マネジメントシステム	1
	(2) 江別市環境マネジメントシステムの内容	1
2	職員の取組内容	2～3
3	第1期環境マネジメントシステム取組結果	4
	(1) 基準年度（平成14年度）の二酸化炭素排出状況	4
	(2) 削減目標対象分各年度実績	5
	(3) 削減目標対象分各部局別実績	5
	(4) 事務用品等の購入（グリーン購入）	6
4	各実施計画実績（削減目標対象分）	7
	(1) 事務用紙の使用	7
	(2) 水の使用	8
	(3) 電気の使用	9
	(4) 公用車燃料の使用（ガソリン）	10
	(5) ガス（都市ガス）の使用	11
	(6) 灯油の使用	12
	(7) 重油の使用	13
5	環境マネジメントシステム取組結果のまとめ	14
6	資料	15
	(1) 各実施計画の年度別実績	15
	(2) 当初数値目標による二酸化炭素排出削減見込及び排出削減量実績	16

1 環境マネジメントシステムの概要

(1) 環境マネジメントシステム

江別市役所の日々の業務により生じる環境への負荷を低減するため、平成16年4月から江別市環境マネジメントシステムを本格運用しています。

環境マネジメントシステム (Environmental Management System) は、環境を改善する方針や目標等を設定し、継続的に環境保全に向け取り組んでいくための管理システムであり、ISO(国際標準化機構)が規格化した ISO14001 に準拠して取組をしています。

(2) 江別市環境マネジメントシステムの内容

江別市環境マネジメントシステム(計画期間:平成16年度～平成18年度の3ヵ年)では、市の事務事業から生じる著しい環境への負荷(環境側面)を特定し、そのそれぞれについて職員の環境に配慮した活動(運用手順)等を定め、励行することにより環境への負荷を軽減することとしています。

下の表は、17ある環境側面と環境目標の一覧ですが、そのうち、事務用紙・水・電気・公用車燃料(ガソリン)・都市ガス・灯油・重油の使用については、平成18年度までの削減目標(環境目標)を設け、年度毎に段階的に削減する計画としています。

【環境側面と環境目標一覧】

No	環境側面	環境目標
1	事務用品等の購入	グリーン購入調達方針を定め、それに従って調達を行う。
2	事務用紙(コピー・プリンター用紙)の使用	平成18年度までに平成14年度と比べ2%削減する。
3	水の使用	平成18年度までに平成14年度と比べ3%削減する。
4	ごみの排出	廃棄物の抑制、リユース、リサイクルを進め、廃棄物総量の削減を推進する。
5	電気(照明)の使用	平成18年度までに平成14年度と比べ6%削減する。
6	電気(OA機器)の使用	
7	電気(その他の電気機器)の使用	
8	公用車燃料(ガソリン・軽油)の使用	平成16年度に平成14年度と比べ10%削減し、維持する。(ガソリン)
9	ガス(都市ガス・LPG)の使用	平成18年度までに平成14年度と比べ3%削減する。(都市ガス)
10	灯油の使用	平成18年度までに平成14年度と比べ3%削減する。
11	重油の使用	平成18年度までに平成14年度と比べ3%削減する。
12	自動車の使用	低公害車の導入を推進する。(特殊車両を除く)。
13	食用油の排出	公共施設からの廃食油の回収を行う。
14	フロン系冷媒機器の使用	フロン系冷媒機器(冷蔵庫・エアコン)の排出抑制を推進する。
15	公共工事からのごみの排出	建設工事から発生する廃棄物の抑制と資源化・再利用を推進する。
16	建設工事の実施	建設工事における大気環境への配慮。
17	電気・燃料の使用	省エネ型の施設、設備(照明器具・事務機器・OA機器等)を導入する。

2 職員の取組内容

職員は、環境目標を達成するために、日々の業務に際して環境に配慮した活動を実践していますが、課単位での取組である「環境管理日誌 (25)」と、職員一人ひとりの取組である「環境管理活動調査 (28)」それぞれの実施率は以下のとおりとなります。

単位：%

No. 1 事務用品等の購入		平成 16 年度	平成 17 年度	増減
28	グリーン購入製品に対する価格・品質等の比較検討 注 2	83.25	85.22	1.97
28	グリーン購入製品の優先的購入	86.91	86.84	△0.07
平 均		85.08	86.03	0.95
No. 2 事務用紙(コピー・プリンター)の使用		平成 16 年度	平成 17 年度	増減
25	片面使用紙のコピーでの再使用	80.61	82.17	1.56
25	片面使用紙の FAX での再使用	63.45	76.23	12.78
25	片面使用紙のプリンターでの再使用	83.16	84.84	1.68
28	両面コピーの徹底	86.04	89.54	3.5
28	必要な枚数のみコピーする	96.14	96.70	0.56
28	コピー機使用前に設定確認、使用后オールクリア 注 1	97.83	—	—
28	大量印刷する場合の原稿のチェック(印刷ミスの防止)	96.90	96.34	△0.56
28	庁内 LAN を活用し、資料の共有化を図る	90.44	94.52	4.08
28	庁内 LAN 掲載内容のプリントアウトは必要最小限とする。 注 2	96.37	97.03	0.66
28	庁内文書等は、紙文書のやりとりを行わず、庁内 LAN を活用する。 注 2	92.16	95.82	3.66
平 均		87.25	90.35	3.10
No. 3 水の使用		平成 16 年度	平成 17 年度	増減
28	給湯設備使用時のお湯の節水 注 1	97.83	—	—
28	給湯室・トイレ使用時の手洗い水の節水 注 1	98.56	—	—
平 均		—	—	—
No. 4 ごみの排出		平成 16 年度	平成 17 年度	増減
25	事務用紙の(コピー・プリンター用紙)リサイクルボックスによる収集	91.50	94.12	2.62
25	ごみ(可燃・不燃・資源物)の分別	93.83	96.11	2.28
28	使用済封筒の再使用、再々使用の徹底	97.49	98.31	0.82
28	不必要なものが出ないような計画的物品購入	97.62	98.52	0.9
28	修理の実施等による物品の長期使用 注 1	97.47	—	—
28	資源ゴミ(ペットボトル・缶・ビン)の分別収集	99.24	99.60	0.36
28	両面使用済コピー用紙のリサイクルボックス収集	92.96	95.31	2.35
平 均		95.44	97.00	1.56

単位：％

No. 5～7 電気(照明・OA 機器・その他の電気機器) の使用		平成 16 年度	平成 17 年度	増減
25	執務時間前の不必要箇所の消灯	94.42	95.86	1.44
25	日中の窓際照明の消灯	85.73	88.04	2.31
25	昼休みの照明の消灯(接客等の特別な場合を除く)	89.22	93.37	4.15
25	時間外の不必要箇所の消灯	93.48	96.17	2.69
28	トイレ・給湯室の利用者がいない場合の消灯	97.68	98.27	0.59
28	喫煙室の必要時以外の常時消灯 注 1	97.78	—	—
25	昼休時間の不使用機器の電源 OFF(常時通電機器を除く)	84.74	87.75	3.01
25	待機モードの活用	87.01	92.48	5.47
25	退庁時には OA 機器のコンセントを抜く。(常時通電機器を除く)	77.15	84.32	7.17
25	退庁時には電気ポットのコンセントを抜く。	89.64	93.60	3.96
28	20 枚以上の印刷は、簡易印刷機を使用する。	91.02	95.73	4.71
平 均		89.01	92.56	3.55
No. 8 公用車燃料 (ガソリン) の使用		平成 16 年度	平成 17 年度	増減
28	公用車から離れるときは長短を問わずエンジン停止 注 1	96.84	—	—
28	アイドリングストップの徹底(エンジン保護のための暖機運転を除く)	91.24	92.03	0.79
28	急発進、急加速はしない 注 1	98.63	—	—
28	近距離の移動の際は徒歩での移動を励行する	80.48	81.29	0.81
28	出張時の公用車使用を可能な限り控え、公共交通機関を利用する	71.24	73.57	2.33
平 均		80.99	82.30	1.31
年 間 平 均		88.70	91.32	2.60

※注 1 平成 16 年度の見直しにより調査項目から除外したもの(調査期間平成 16 年度第 1 四半期～平成 16 年度第 3 四半期)

※注 2 平成 16 年度の見直しにより調査項目に追加したもの(調査期間平成 16 年度第 4 四半期～)

※注 3 平均及び年間平均は、平成 16 年度の見直しにより調査項目から除外したもの(注 1)の実施率を除いたものとなります。

取組項目については、各取組項目の実施率や実施計画の達成状況に応じ、より効果的な取組を進めていくため平成 16 年度と平成 18 年度にそれぞれ見直しをしています。

各調査項目の実施率の年間平均では、平成 16 年度は 90.43%で平成 17 年度は 91.32%と、ともに 90%を超えており平成 17 年度は平成 16 年度より 0.89%上がっています。

各実施計画別平均実施率では、「事務用品の購入」について平成 16 年度 85.08%、平成 17 年度 86.03%と、両年度とも他の項目と比較して最低の結果となっています。

グリーン購入については、毎年度調達方針を定めて、その方針に従い物品・役務等の調達をすることとしています。今後の方針に基づくグリーン調達を積極的に進めていく必要があります。

また、「事務用紙の使用」については、平成 16 年度 88.31%、平成 17 年度 90.35%という結果となっていますが、「片面使用紙の再使用」に係る各取組の実施率が低いことから、それらの取組については、より取組の明確化を図っていく必要があります。

3 第1期環境マネジメントシステム取組結果

(1) 基準年度（平成14年度）の二酸化炭素排出状況

基準年度（平成14年度）における二酸化炭素排出量は全体で 17,448t-CO₂、うち削減目標対象二酸化炭素排出量は 9,515t-CO₂ でした。

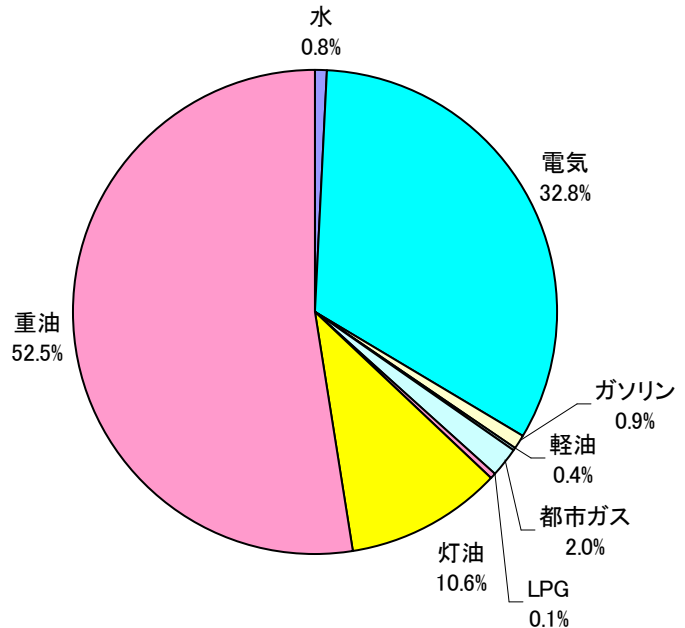
基準年度における内訳別二酸化炭素排出量及び排出割合は下の表・グラフのとおりです。

二酸化炭素排出量（全体）

単位：t-CO₂

環境側面	二酸化炭素排出量
水の使用	1 3 7
電気の使用	5, 7 2 1
ガソリンの使用	1 5 0
軽油の使用	6 2
都市ガスの使用	3 4 3
LPGの使用	1 4
灯油の使用	1, 8 5 3
重油の使用	9, 1 6 8
合 計	1 7, 4 4 8

【二酸化炭素排出割合グラフ（全体）】

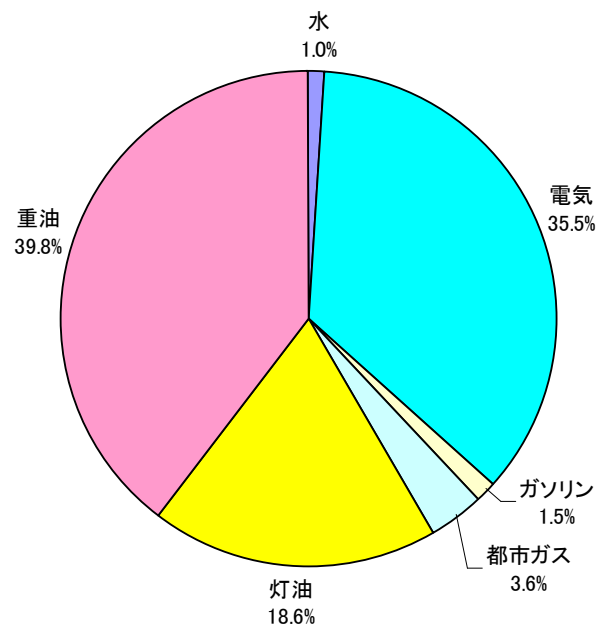


二酸化炭素排出量（削減目標対象）

単位：t-CO₂

環境側面	二酸化炭素排出量
水の使用	9 7
電気の使用	3, 3 7 9
ガソリンの使用	1 3 8
都市ガスの使用	3 4 3
灯油の使用	1, 7 6 9
重油の使用	3, 7 8 9
合 計	9, 5 1 5

【二酸化炭素排出割合グラフ（削減目標対象）】



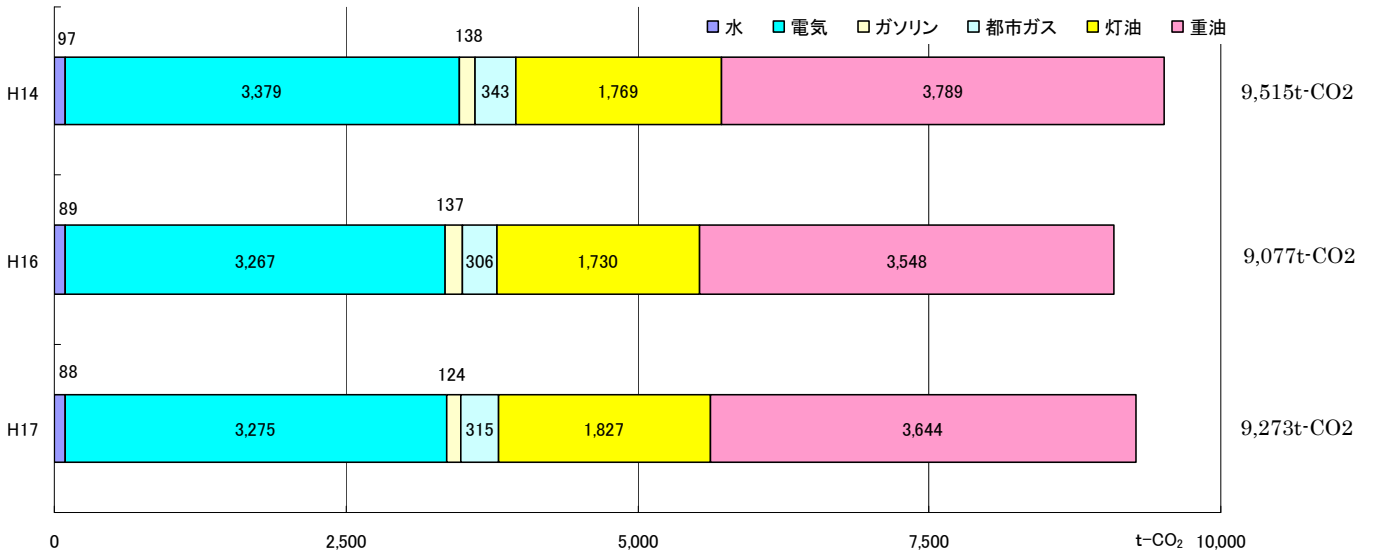
※削減目標対象分の排出量内訳では、重油の使用によるものが 39.8%、次いで電気の使用によるものが 35.5%、灯油の使用によるものが 18.6%となっており、重油・灯油など主として冬季の暖房使用による二酸化炭素排出が約 6 割を占める結果となっています。

(2) 削減目標対象分各年度実績

削減目標対象分の各年度二酸化炭素内訳別排出量は以下のグラフのとおりとなります。各年度削減目標を達成した場合の二酸化炭素削減量は3ヵ年で合計807t-CO₂を見込んでいましたが、平成16年度及び平成17年度の2ヵ年の合計で680t-CO₂を削減しています。

尚、平成17年度は冬季間の気温等などから灯油の使用量が前年度比+5.6%という結果となり、排出量全体でも前年度比+196t-CO₂となっています。

【各年度内訳別二酸化炭素排出量グラフ】

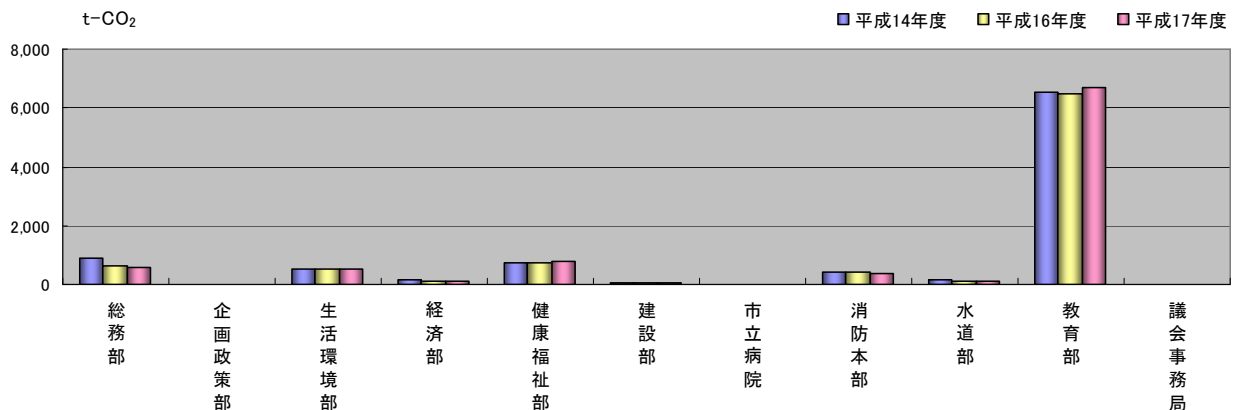


(3) 削減目標対象分各部局別実績

削減目標対象分の部局別二酸化炭素排出量では、小中学校・社会教育施設等を所管する教育部が一番多く、排出量全体の約70%を占めています。

部局別の結果では、総務部が平成17年度実績で基準年度比△35%という結果となっていますが、小中学校、老人憩の家、児童センター、保育園などの冬季暖房用灯油使用量が増加していることから、教育部と健康福祉部の平成17年度実績は基準年度（平成14年度）と比較して増加しています。

【各年度部局別二酸化炭素排出量グラフ】



(4) 事務用品等の購入（グリーン購入）

グリーン購入とは、市の事務及び事業に伴い必要となる物品等を購入する際に、環境負荷の少ない循環型社会を実現するために、環境に配慮した物品等を優先して購入することをいいます。

調達に際しては、前年度の調達率をもとに毎年度「グリーン購入調達方針」を定め、いくつかの分野に具体的な数値目標(調達目標)を設けながら環境配慮物品の購入を進めており、平成16年度、平成17年度の目標及び実績は以下の表のとおりとなります。

また、グリーン購入については、「事務用品等の購入」として、17ある環境側面のひとつに位置づけされています。

グリーン購入調達実績

特定調達物品等		平成16年度			平成17年度			
		調達目標	調達率	評価	調達目標	調達率	評価	
1	紙類	85%	86.9%	○	90%	86.7%		
2	納入印刷物	100%	86.1%		100%	61.1%		
3	文具類	100%	83.7%		100%	85.5%		
4	機器等（H16 事務所用備品）	85%	14.9%		60%	98.9%	○	
5	OA機器	100%	81.1%		100%	94.7%		
6	家電製品	85%	100.0%	○	85%	90.0%	○	
7	照明	100%	100.0%	○	100%	81.3%		
	蛍光灯照明器具							
	蛍光管	可能な限り調達に努める	44.6%	-	可能な限り調達に努める	64.4%	-	
8	自動車（緊急自動車、業務上支障があると認められる車両を除く。）	60%	100.0%	○	60%	100.0%	○	
9	制服・作業服	60%	90.2%	○	60%	94.8%	○	
10	インテリア・寝装寝具	60%	20.8%		60%	46.7%		
11	作業用手袋	75%	45.0%		75%	99.2%	○	
12	その他繊維製品 ※1	—	-		可能な限り調達に努める	100.0%	-	
13	設備	可能な限り調達に努める	-	-	可能な限り調達に努める	-	-	
14	公共工事 ※2	建設工事において発生するアスファルト・コンクリート塊	85%	100.0%	○	85%	-	
		建設工事における建設発生土	85%	98.7%	○	85%	-	
		その他の品目	可能な限り調達に努める	-	-	可能な限り調達に努める	-	-
15	役務	可能な限り調達に努める	-	-	可能な限り調達に努める	100.0%	-	
※1 平成17年度から新たに追加したもの。								
※2 公共工事における各結果は、いずれも再利用率となります。								

平成16年度と平成17年度の比較では、納入印刷物など一部の分野を除き、多くの項目で実施率が上がっており、環境に配慮した物品等の調達は進んでいるものと考えられますが、今後も引き続き適合品の調達に努める必要があります。

4 各実施計画実績（削減目標対象分：網掛けは削減目標未達成）

(1) 事務用紙の使用

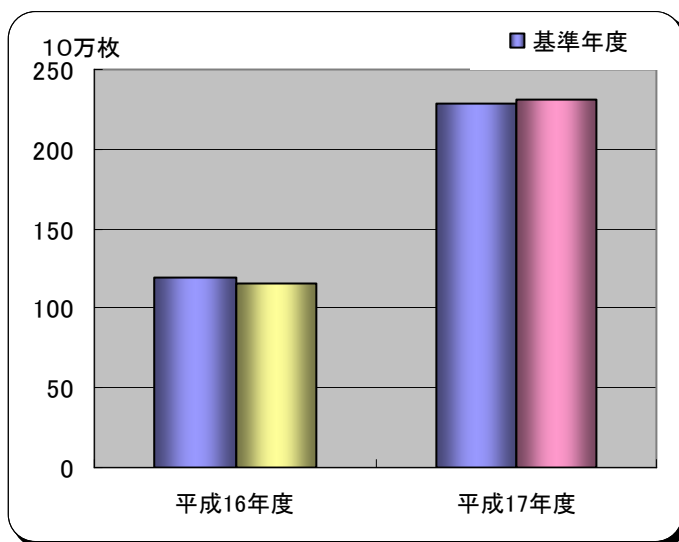
単位：枚,%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
推進目標	3,545,500	4,241,250	-	-	4,193,750	-	-
削減目標	11,964,972 22,840,972	11,562,077	△0.5	△3.4	23,139,688	△1	1.3
合計	15,510,472 26,386,472	15,803,327	-	-	27,333,438	-	-

※表中、削減目標及び合計欄の上段は平成16年度実績、下段は平成17年度実績に係る数値となります。

【削減目標 各年度実績】

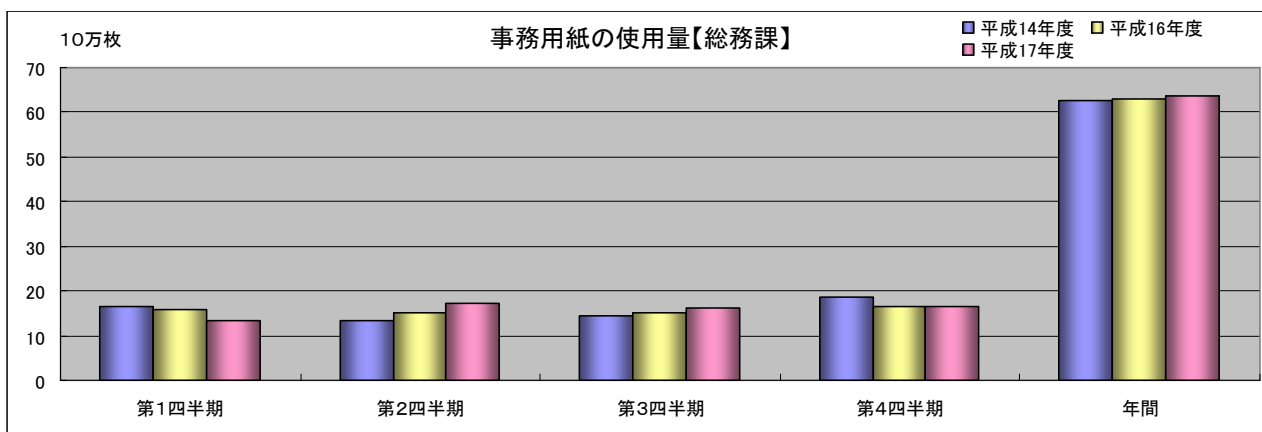
○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△0.5%	△3.4%
平成17年度	△1%	1.3%
平成18年度	△2%	—



事務用紙の使用について、平成16年度は基準年度比△3.4%となり目標を達成していますが、平成17年度は基準年度比1.3%となり未達成となりました。

下のグラフは、総務課が管理している本庁舎等で使用された事務用紙の使用枚数ですが、毎年第2・3四半期においてそれぞれ使用量が増加しています。業務内容等の変化等もありますが、今後も配慮手順の励行により、使用量削減に向けた取組を行う必要があります。

尚、平成17年度に報告値の修正をしていることから平成16年度と平成17年度では基準年度数値は異なります。



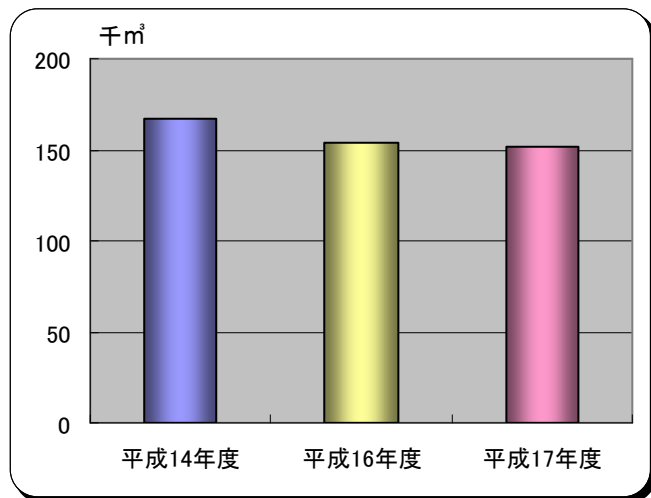
(2) 水の使用

単位：m³,%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
新設施設	150.0	906.0	-	-	1,020.0	-	-
推進目標施設	69,103.0	68,650.0	-	-	62,755.0	-	-
削減目標施設	167,107.4	154,146.5	△1	△7.8	152,177.0	△2	△8.9
合計	236,360.4	223,702.5	-	-	215,952.0	-	-

【削減目標対象施設各年度実績】

○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△1%	△7.8%
平成17年度	△2%	△8.9%
平成18年度	△3%	—

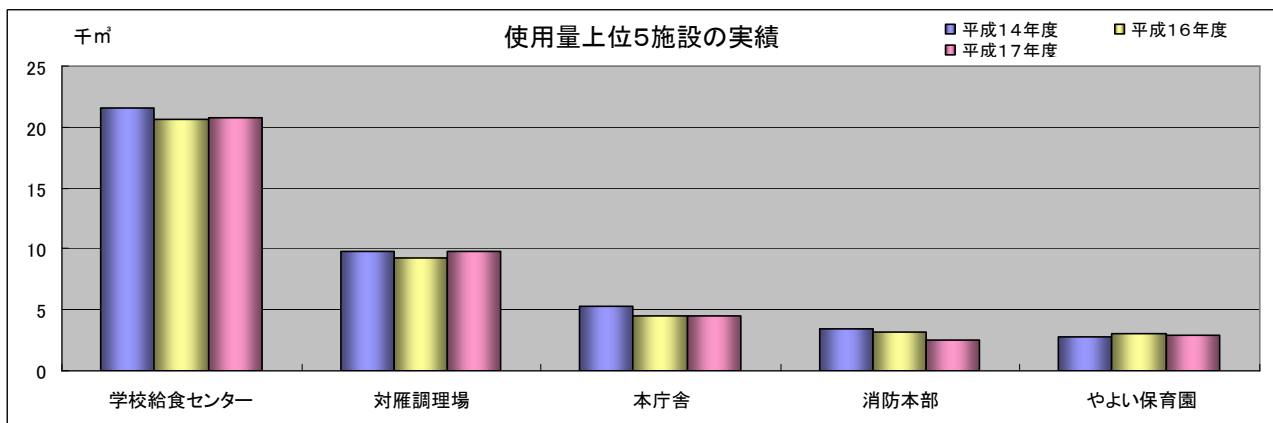


水の使用については、平成16年度、平成17年度ともに目標を達成しています。

使用量の多い施設の平成17年度

の状況では、学校給食センターが基準年度比△3.9%、学校給食センター対雁調理場が+0.4%、本庁舎が△15.2%という結果となりました。又、本庁舎以外についても別館△27.8%、第2別館△69.6%と、主として職員が事務に従事する施設では大幅に使用量を削減しています。

また、使用量全体の5割を占める小中学校については、平成17年度基準年度比△9.5%という結果となっています。



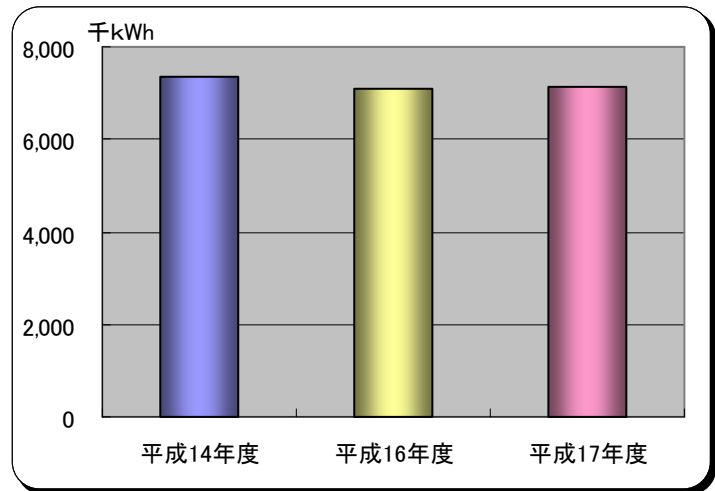
(3) 電気の使用

単位：kWh,%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
新設施設	75,630.0	117,704.0	-	-	116,741.0	-	-
推進目標施設	5,015,411.0	5,250,331.0	-	-	5,746,488.0	-	-
削減目標施設	7,345,000.0	7,103,178.0	△2	△3.3	7,119,236.0	△4	△3.1
合計	12,436,041.0	12,471,213.0	-	-	12,982,465.0	-	-

【削減目標対象施設各年度実績】

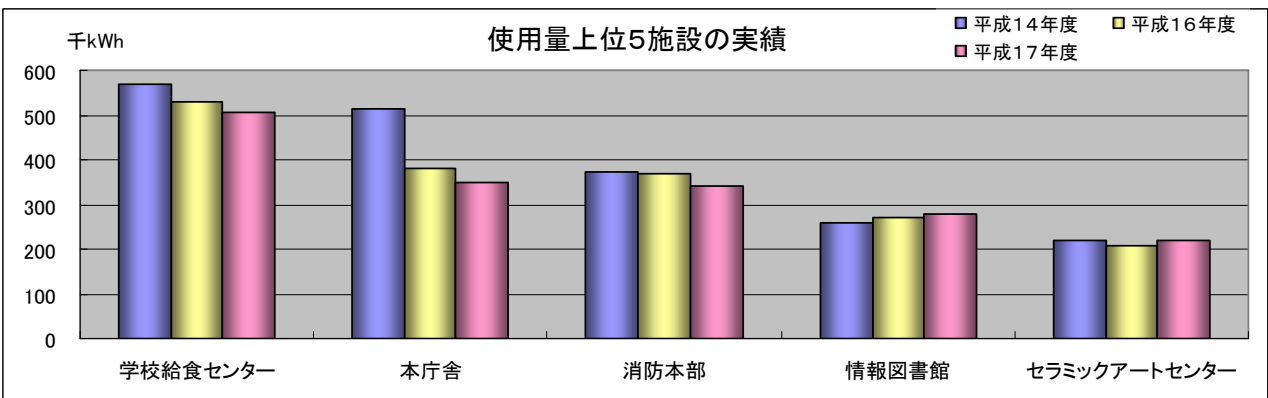
○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△2%	△3.3%
平成17年度	△4%	△3.1%
平成18年度	△6%	—



電気の使用については、平成16年度、平成17年度ともに基準年度比△3%台という結果でしたが、平成17年度は目標未達成となっています。

使用量の多い施設の平成17年度の実績では、学校給食センターが基準年度比△10.8%、本庁舎が△31.5%、消防本部が△7.9%といずれも大幅な削減となっていますが、情報図書館や錦町別館などの使用量が増加している施設もあることから、全体平均で△3.1%となっています。

小中学校は使用量全体の50%程度を占めていますが、平成16年度は△2.0%でしたが、平成17年度は±0.0%という結果となりました。



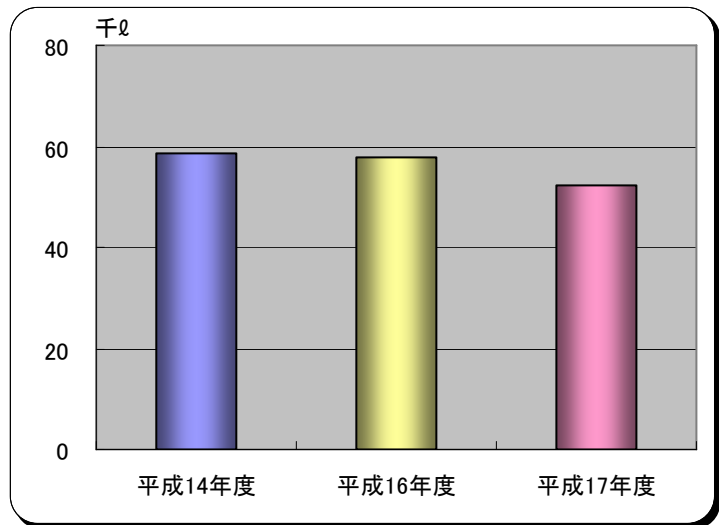
(4) 公用車燃料の使用 (ガソリン)

単位：ℓ,%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
推進目標	4,798.6	5,407.8	-	-	5,745.2	-	-
削減目標	58,692.2	57,867.4	△10	△1.4	52,425.0	△10	△10.7
合計	63,490.8	63,275.2	-	-	58,170.2	-	-

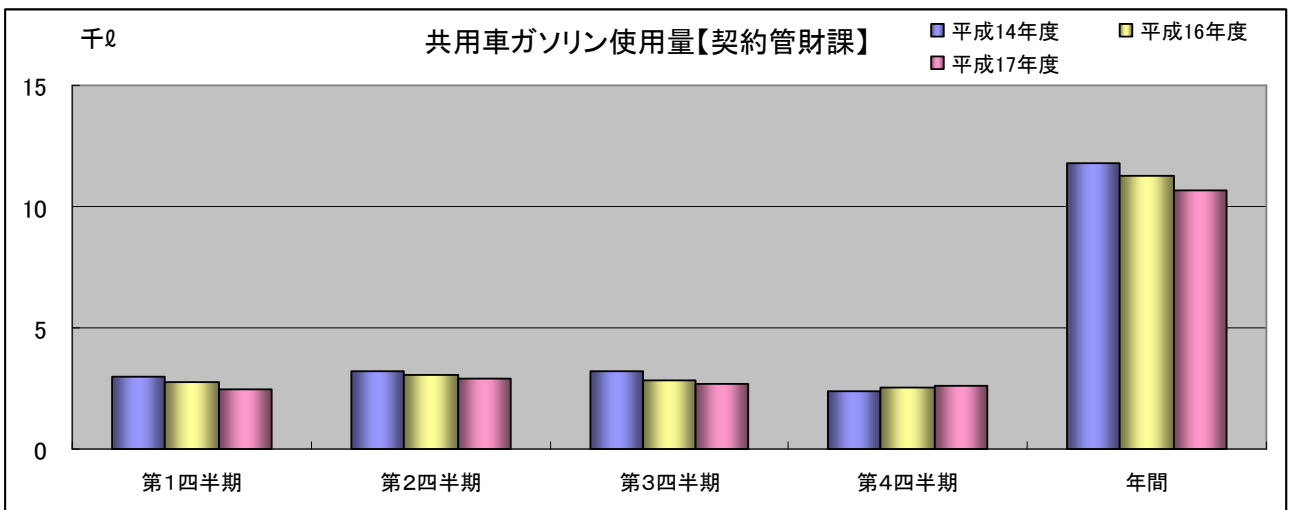
【削減目標 各年度実績】

○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△10%	△1.4%
平成17年度	△10%	△10.7%
平成18年度	△10%	—



ガソリンの使用については、平成16年度は基準年度比△1.4%と未達成でしたが、平成17年度は基準年度比△10.7%となり、目標を達成しています。

契約管財が管理している共用車のガソリン使用量は下のグラフのとおりですが、第4四半期を除く各期とも前年度実績を下回り、年間使用量でも減ってきていることがわかります。今後もエコドライブを励行し、環境にやさしい運転に努める必要があります。



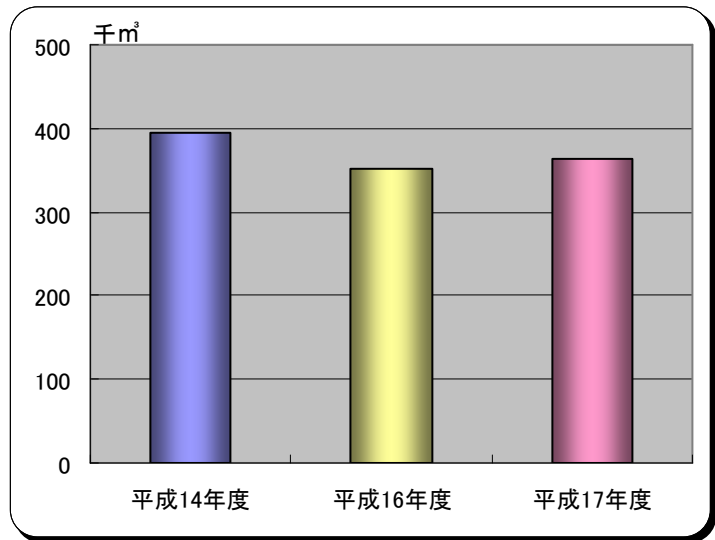
(5) ガス(都市ガス)の使用

単位：m³,%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
新設施設	12.0	48.0	-	-	49.0	-	-
推進目標施設	0.0	0.0	-	-	0.0	-	-
削減目標施設	394,080.0	352,001.0	△1	△10.7	362,566.0	△1	△8.0
合計	394,092.0	352,049.0	-	-	362,615.0	-	-

【削減目標対象施設各年度実績】

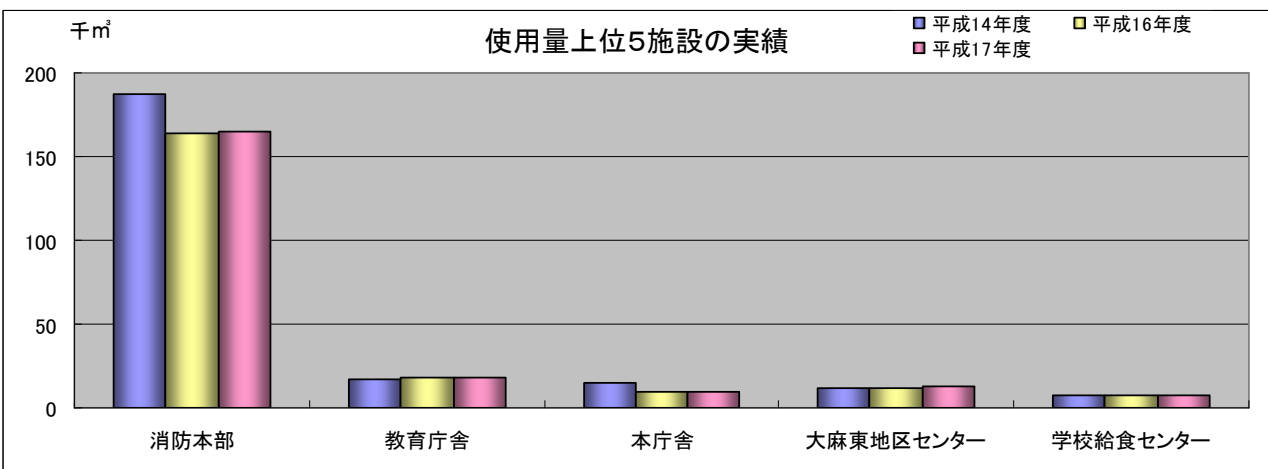
○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△1%	△10.7%
平成17年度	△2%	△8.0%
平成18年度	△3%	—



都市ガスの使用については、平成16年度、平成17年度ともに目標を大幅に上回る結果で達成しています。

消防本部、教育庁舎など使用量の多い施設は、いずれも主たる用途は暖房用となります。

また、使用量のほぼ5割を占める消防本部は、平成16年度、平成17年度ともに基準年度比10%以上削減を達成しており、本庁舎でも平成17年度実績で基準年度比38%以上削減する結果となっています。



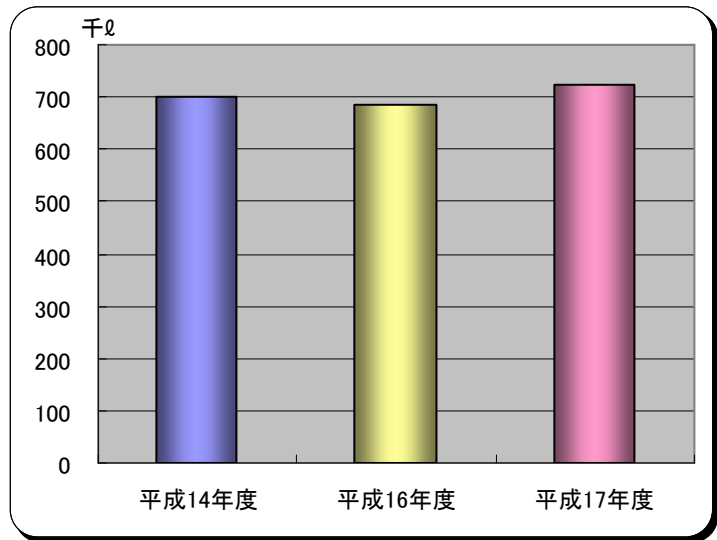
(6) 灯油の使用

単位：ℓ，%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
新施設	2,229.0	4,062.6	-	-	4,382.0	-	-
推進目標施設	30,979.0	127,197.0	-	-	146,447.0	-	-
削減目標施設	699,148.6	683,829.3	△1	△2.2	722,312.8	△2	3.3
合計	732,356.6	815,088.9	-	-	873,141.8	-	-

【削減目標対象施設各年度実績】

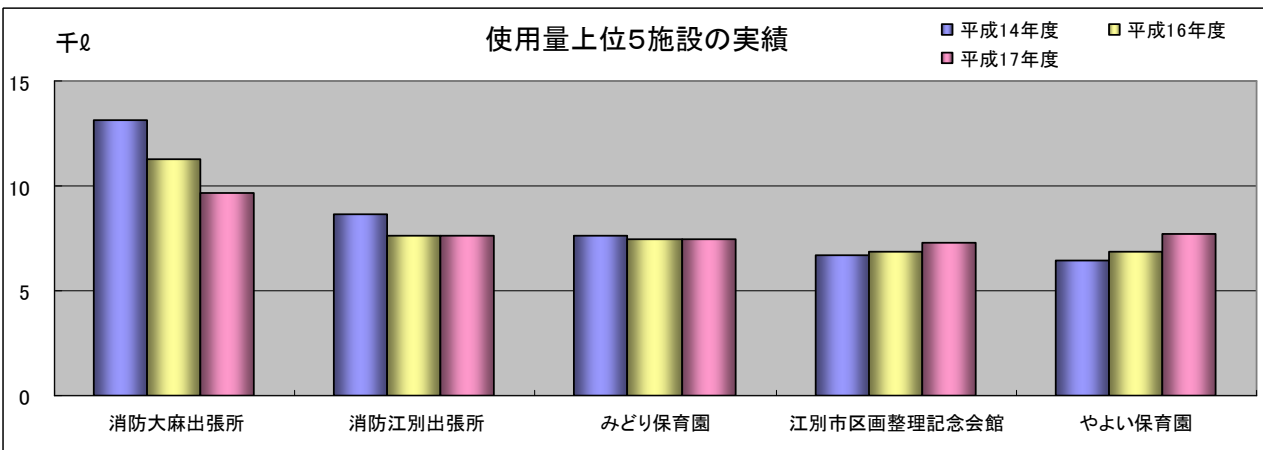
○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△1%	△2.2%
平成17年度	△2%	3.3%
平成18年度	△3%	—



灯油の使用については、平成16年度は削減目標を達成したものの、平成17年は冬季の気温等の関係などもあり、基準年度より使用量が増加する結果となりました。

使用量の多い施設の平成17年度結果では、消防大麻出張所で基準年度比△26.4%、消防江別出張所で△11.9%と大幅に削減しています。しかし、使用量全体の66%を占める小中学校が基準年度比+6.2%となったことなどから、全体では基準年度比+3.3%という結果となっています。

また、平成17年度は地区センターや保育園、児童センターなどの市民利用施設の使用量も増加傾向を示しています。



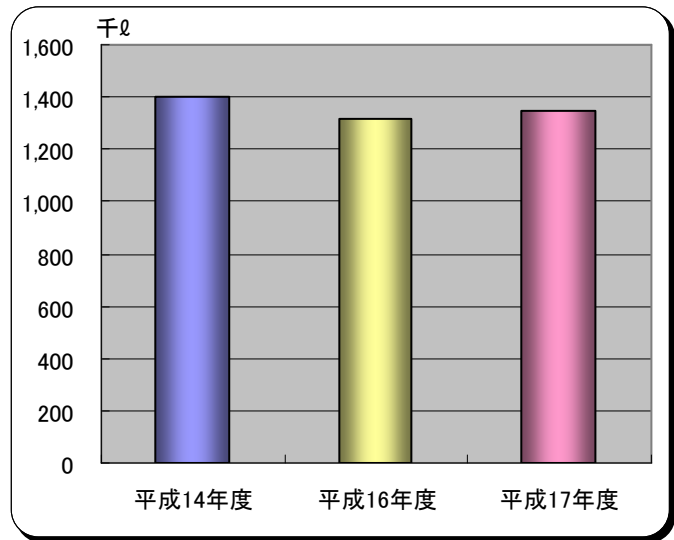
(7) 重油の使用

単位：ℓ,%

	平成14年度 (2002)	平成16年度 (2004)	削減率		平成17年度 (2005)	削減率	
			目標	実績		目標	実績
新設施設	20,190.0	19,800.0	-	-	20,900.0	-	-
推進目標施設	1,972,143.9	1,813,952.9	-	-	1,712,226.8	-	-
削減目標施設	1,403,359.0	1,314,250.0	△1	△6.3	1,349,800.0	△2	△3.8
合計	3,395,692.9	3,148,002.9	-	-	3,082,926.8	-	-

【削減目標対象施設各年度実績】

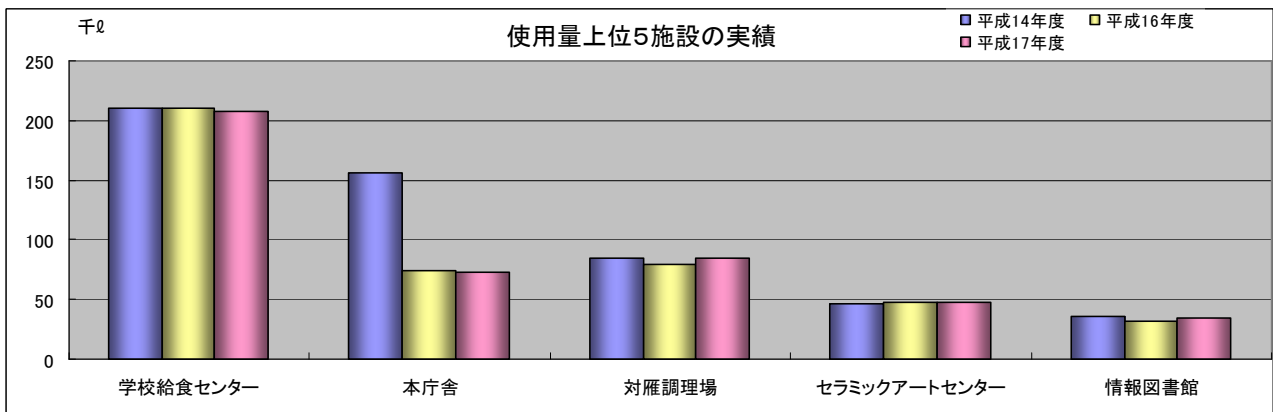
○各年度実績	目標	実績
平成16年度	△1%	△6.3%
平成17年度	△2%	△3.8%
平成18年度	△3%	—



重油の使用については、平成16年度、平成17年ともに削減目標を達成していますが、平成17年度は冬季の気温等の影響から、灯油同様に使用量は増加しており、削減幅は減少しています。

使用量の多い施設の平成17年度結果では、学校給食センターでは△1%、学校給食センター対雁調理場では△0.1%という結果でした。本庁舎では△53.2%と大幅な削減となっていますが、これは、江別市民会館への暖房供給を中止したことや、空調設備を更新したことなどによると考えられます。

使用量の5割を占める小中学校では、平成17年度は灯油同様に増えており、基準年度比+6.9%という結果となっています。



5 環境マネジメントシステム取組結果のまとめ

第1期江別市環境マネジメントシステムの取組及び実施計画それぞれの結果に係る評価・課題等は以下のとおり。

(対象期間：平成16年度～平成17年度)

職員の取組内容

- ・職員の環境配慮活動について、実施率は平均9割以上である。
- ・各実施計画別の実施率では、一部の実施計画についてまだ向上を図る必要がある。（「事務用品等の購入」・「公用車燃料の使用」）
- ・各環境配慮活動「環境管理日誌」「環境管理活動調査」については本格運用開始後、いくつか取組項目の見直しをしているが、3年経過することから一部の項目についてはマンネリ化が懸念され、取組意識をリフレッシュさせる必要がある。

実施計画

- ・当初数値目標による二酸化炭素削減量について、平成16・17年度の2カ年で410,190kg-CO₂を見込んでいたが、それを上回る677,320kg-CO₂を削減する結果を得た。
- ・削減目標対象実施計画において、平成16年度は公用車燃料の使用（ガソリン）について、平成17年度は事務用紙・電気・灯油の使用についてそれぞれ削減目標未達成であった。
- ・事務用紙の使用については使用量が増加傾向にあり、削減に向けて一層の取組が必要である。
- ・電気の使用については、マネジメントシステムによる取組後、基準年度比3%程度の削減効果を得ているが、目標達成に向けたより一層の取組が求められる。
- ・都市ガス・灯油・重油については主として暖房用であることから、冬季の天候等に左右されやすいが、都市ガス・重油の使用については環境マネジメントシステム導入後それぞれ一定の削減結果を得ている。

6 資料 (1)各実施計画の年度別実績

	環境目標	平成14年度 (基準年度)	平成16年度					平成17年度					
			年度目標	実績値	基準年度増減	基準年度比	評価	年度目標	実績値	基準年度増減	基準年度比	評価	
No. 2 事務用紙の使用	使用量 ※1	15,510,472 枚		15,803,327 枚	292,855 枚	1.89%			27,333,438 枚	946,966 枚	3.59%		
	削減目標対象使用量 ※1	26,386,472 枚											
		11,964,972 枚	△2%	△0.5%	11,562,077 枚	-402,895 枚	-3.37%	○	△1%	23,139,688 枚	298,716 枚	1.31%	×
No. 3 水の使用	使用量	236,360.4 m³		223,702.5 m³	-12,658 m³	-5.36%			215,952.0 m³	-20,408.4 m³	-8.63%		
	削減目標対象使用量	167,107.4 m³	△3%	△1%	154,146.5 m³	-12,961 m³	-7.76%	○	△2%	152,177.0 m³	-14,930.4 m³	-8.93%	○
No. 4 ごみの排出	総排出量(可燃物)	3,562.38 m³		3,736.82 m³	174 m³	4.90%			3,146.57 m³	-415.8 m³	-11.67%		
	総排出量(不燃物)	1,689.26 m³		1,877.18 m³	188 m³	11.12%			1,517.55 m³	-171.7 m³	-10.16%		
	総回収量(資源物)	54,020.09 kg		59,263.10 kg	5,243 kg	9.71%			55,314.76 kg	1,294.7 kg	2.40%		
No. 5-7 電気の使用	使用量	12,436,041.0 kWh		12,471,213.0 kWh	35,172 kWh	0.28%			12,982,465.0 kWh	546,424.0 kWh	4.39%		
	削減目標対象使用量	7,345,000.0 kWh	△6%	△2%	7,103,178.0 kWh	-241,822 kWh	-3.29%	○	△4%	7,119,236.0 kWh	-225,764.0 kWh	-3.07%	×
No. 8 燃料の使用	使用量(ガソリン)	63,490.8 ℓ		63,275.2 ℓ	-216 ℓ	-0.34%			58,170.2 ℓ	-5,320.6 ℓ	-8.38%		
	削減目標対象使用量(ガソリン)	58,692.2 ℓ	△10%	△10%	57,867.4 ℓ	-825 ℓ	-1.41%	×	△10%	52,425.0 ℓ	-6,267.2 ℓ	-10.68%	○
	使用量(軽油)	23,690.00 ℓ		13,602.00 ℓ	-10,088 ℓ	-42.58%			8,265.00 ℓ	-15,425.0 ℓ	-65.11%		
No. 9 ガスの使用	使用量(都市ガス)	394,092.0 m³		352,049.0 m³	-42,043 m³	-10.67%			362,615.0 m³	-31,477.0 m³	-7.99%		
	削減目標対象使用量(都市ガス)	394,080.0 m³	△3%	△1%	352,001.0 m³	-42,079 m³	-10.68%	○	△2%	362,566.0 m³	-31,514.0 m³	-8.00%	○
	使用量(LPG)	9,923.20 m³		9,680.80 m³	-242 m³	-2.44%			9,412.80 m³	-510.4 m³	-5.14%		
No. 10 灯油の使用	使用量	732,356.6 ℓ		815,088.9 ℓ	82,732 ℓ	11.30%			873,141.8 ℓ	140,785.2 ℓ	19.22%		
	削減目標対象使用量	699,148.6 ℓ	△3%	△1%	683,829.3 ℓ	-15,319 ℓ	-2.19%	○	△2%	722,312.8 ℓ	23,164.2 ℓ	3.31%	×
No. 11 重油の使用	使用量	3,395,692.9 ℓ		3,148,002.9 ℓ	-247,690 ℓ	-7.29%			3,082,926.8 ℓ	-312,766.1 ℓ	-9.21%		
	削減目標対象使用量	1,403,359.0 ℓ	△3%	△1%	1,314,250.0 ℓ	-89,109 ℓ	-6.35%	○	△2%	1,349,800.0 ℓ	-53,559.0 ℓ	-3.82%	○
No. 12 自動車の使用	低公害車導入台数(各年度末台数)	9 台		15 台	6 台				19 台	10 台			
No. 13 食用油の排出	廃食用油回収量	4,986.08 kg	回収率	4,962.60 kg		回収率	○		5,244.40 kg		回収率	○	
	廃食用油排出量	100.00%	4,986.08 kg	4,962.60 kg		100.00%			5,244.40 kg		100.00%		
No. 14 フロン系冷媒機器の使用	廃棄時適正処理件数			2 件		適正廃棄率			2 件		適正廃棄率		
	廃棄件数			2 件		100.00%			2 件		100.00%		
	更新時非フロン系冷媒使用件数			0 件		適正更新率			3 件		適正更新率		
	更新件数			0 件		-			3 件		100.00%		
No. 15 公共工事からのごみの排出	特定建設資材廃棄物資源化数量			6,758.30 m³、t		資源化率			10,640.25 m³、t		資源化率		
	特定建設資材廃棄物排出量			6,760.30 m³、t		99.97%			10,680.35 m³、t		99.62%		
	建設発生土再利用量			44,007.00 m³、t		再利用率			30,649.60 m³、t		再利用率		
	建設発生土排出量			51,584.00 m³、t		85.31%			47,902.10 m³、t		63.98%		
No. 16 建設工事の実施	配慮事項の反映件数			111 件		使用率等			128 件		使用率等		
	発注総件数			144 件		77.08%			130 件		98.46%		
No. 17 省エネ型の施設、設備等の導入、検討	省エネ型設備等導入件数			6 件					5 件				

※1 No. 2 事務用紙の使用については、平成17年度報告時に一部の部局より平成14年度分についての修正報告があったことから、基準年度数値を訂正しているため、上段平成16年度用基準年度数値、下段平成17年度用基準年度数値それぞれ記載している。

6 資料 (2)当初数値目標による二酸化炭素排出削減見込及び排出削減量実績

当初数値目標による二酸化炭素排出削減見込						平成16・17年度実績による二酸化炭素排出削減量									
平成16年度						平成16年度									
環境側面	削減率	基準使用量等		削減使用量等		二酸化炭素排出削減量	環境側面	削減率	基準使用量等		削減使用量等		二酸化炭素排出削減量		
水の使用	1%	167,107.4	m ³	1,670	m ³	960	水の使用	7.8%	167,107.4	m ³	12,961	m ³	7,510		
電気の使用	2%	7,345,000.0	kWh	146,900	kWh	67,570	電気の使用	3.3%	7,345,000.0	kWh	241,822	kWh	111,230		
ガソリンの使用	10%	58,692.2	L	5,860	L	13,820	ガソリンの使用	1.4%	58,692.2	L	825	L	1,940		
都市ガスの使用	1%	394,080.0	m ³	3,940	m ³	3,420	都市ガスの使用	10.7%	394,080.0	m ³	42,079	m ³	36,600		
灯油の使用	1%	699,148.6	L	6,990	L	17,680	灯油の使用	2.2%	699,148.6	L	15,319	L	38,750		
重油の使用	1%	1,403,359.0	L	14,030	L	37,880	重油の使用	6.3%	1,403,359.0	L	89,109	L	240,590		
合 計						141,330	合 計						436,620		
平成17年度						平成17年度									
環境側面	削減率	基準使用量等		削減使用量等		二酸化炭素排出削減量	環境側面	削減率	基準使用量等		削減使用量等		二酸化炭素排出削減量		
水の使用	2%	167,107.4	m ³	3,340	m ³	1,930	水の使用	8.9%	167,107.4	m ³	14,930	m ³	8,650		
電気の使用	4%	7,345,000.0	kWh	293,800	kWh	135,140	電気の使用	3.1%	7,345,000.0	kWh	225,764	kWh	103,850		
ガソリンの使用	10%	58,692.2	L	5,860	L	13,820	ガソリンの使用	10.7%	58,692.2	L	6,267	L	14,790		
都市ガスの使用	2%	394,080.0	m ³	7,880	m ³	6,850	都市ガスの使用	8.0%	394,080.0	m ³	31,514	m ³	27,410		
灯油の使用	2%	699,148.6	L	13,980	L	35,360	灯油の使用	-3.3%	699,148.6	L	-23,164	L	-58,600		
重油の使用	2%	1,403,359.0	L	28,060	L	75,760	重油の使用	3.8%	1,403,359.0	L	53,559	L	144,600		
合 計						268,860	合 計						240,700		
平成18年度						平成18年度									
環境側面	削減率	基準使用量等		削減使用量等		二酸化炭素排出削減量	環境側面	削減率	基準使用量等		削減使用量等		二酸化炭素排出削減量		
水の使用	3%	167,107.4	m ³	5,010	m ³	2,900	水の使用								
電気の使用	6%	7,345,000.0	kWh	440,700	kWh	202,720	電気の使用								
ガソリンの使用	10%	58,692.2	L	5,860	L	13,820	ガソリンの使用								
都市ガスの使用	3%	394,080.0	m ³	11,820	m ³	10,280	都市ガスの使用								
灯油の使用	3%	699,148.6	L	20,970	L	53,050	灯油の使用								
重油の使用	3%	1,403,359.0	L	42,100	L	113,670	重油の使用								
合 計						396,440	合 計								
平成16年度～18年度 3カ年間の二酸化炭素排出削減量の総計（見込）						806,630	kg-CO ₂	平成16年度～17年度 2カ年間の二酸化炭素排出削減量の総計						677,320	kg-CO ₂

※削減使用量等・二酸化炭素排出削減量は、1桁目を切り捨てにより端数整理しています。

※削減使用量等・二酸化炭素排出削減量は、1桁目を切り捨てにより端数整理しています。